



# 平成 19 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況 (連結)

平成 19 年 2 月 7 日

上場会社名 ユニチカ株式会社 (コード番号: 3103 東証第一部、大証第一部)

(URL <http://www.unitika.co.jp>)

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 大西 音文

問合せ先責任者 役職名 経 理 部 長 氏名 大槻 和夫

T E L : (06)6281-5721

## 1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有  
(内容) 引当金の一部において簡便的な方法を採用しています。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有  
連結(新規) 3 社 (除外) - 社 持分法(新規) 1 社 (除外) - 社

## 2. 平成 19 年 3 月期第 3 四半期財務・業績の概況 (平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況 (注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しています。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 3 四半期	155,480	1.0	7,198	△15.0	4,947	△24.8	2,080	0.4
18 年 3 月期第 3 四半期	153,930	△0.5	8,468	15.0	6,581	13.2	2,072	45.8
(参考)18 年 3 月期	215,957		14,206		11,695		4,504	

	1 株当たり四半期 (当期) 純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期) 純利益
	円 銭	円 銭
19 年 3 月期第 3 四半期	4.37	—
18 年 3 月期第 3 四半期	4.36	—
(参考)18 年 3 月期	9.47	—

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

### [経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

本年度第 3 四半期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 12 月 31 日)は、国内景気は引き続き回復基調となったものの、石化原燃料価格がさらに高騰する状況で推移しました。このような情勢の下、当社グループは昨年 4 月からスタートしております中期経営 3 カ年計画「New Progress (NP) - 8」に掲げる諸施策を進めてまいりましたが、当第 3 四半期(9 カ月累計)につきましては、不動産事業に係る収益の減少、天然繊維事業の市況悪化、また原燃料価格のさらなる上昇の影響などにより、売上高は 155,480 百万円、営業利益は 7,198 百万円、経常利益は 4,947 百万円、四半期純利益は 2,080 百万円となりました。

事業別の状況は次のとおりです。

### 【高分子事業】

フィルム事業では、国内包装分野の伸びがやや鈍化するとともに、ナイロンフィルムの中国、東南アジア地域での競争激化の影響を受けました。樹脂事業では、ボトル用途の販売量が減少しましたが、自動車部材、電気・電子部品関連用途を中心に機能性樹脂の拡販が進み堅調に推移しました。不織布事業では、衛材関連用途の販売増、ルーフィング用途の回復などにより概ね堅調に推移しました。尚、原燃料価格が高騰する中、引き続き、各事業ともコストダウン及び製品価格改定などにより、収益の確保に努めました。

【環境・機能材事業】

環境事業では、これまでの公共事業全体の事業量低下の影響などにより収益の本格的回復には至りませんでした。尚、自治体からの発注は回復基調にあり、受注の状況も徐々に改善しております。機能材事業では、ガラス繊維のICクロスがデジタル機器・IT関連用途を中心に引き続き伸長するとともに、産業資材向け用途としてバグフィルターなどが堅調に推移しました。また活性炭繊維がメッキ液浄化フィルターなどを中心に堅調に推移するとともに、ガラスビーズも概ね堅調に推移しました。

【繊維事業】

合成繊維事業では、原燃料価格の高騰に対し、引き続きコストダウン及び製品価格の改定などに取り組みました。ポリエステル長繊維は衣料分野が依然として低調でしたが、事業構造の改善が進んだナイロン繊維や産業資材用ポリエステル繊維などが堅調に推移しました。一方、天然繊維事業は、ユニフォーム分野や製品ビジネスの競争激化及び原料価格高騰の影響により、引き続き厳しい状況で推移しました。

【生活健康・その他事業】

生活健康事業では、メディカル分野が概ね堅調に推移しましたが、健康補助食品分野の販売が伸び悩みました。その他事業では、マンション販売の収益が落ち込むとともに、第1四半期における営業用不動産のスポット的な収益が減少し、当第3四半期までの収益減少の要因となっております。

(2) 財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第3四半期	334,121	39,444	10.4	73.19
18年3月期第3四半期	341,169	32,881	9.6	69.13
(参考)18年3月期	331,836	35,307	10.6	74.23

[財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末の総資産は、前期末に比べ2,285百万円増加し、334,121百万円となりました。これは主として、たな卸資産の増加によるものであります。

少数株主持分を含む純資産は、前期末（少数株主持分及び資本の合計）に比べ547百万円減少し、39,444百万円となりました。主な増減要因は、その他有価証券評価差額金の減少であります。

(参考)

平成19年3月期の連結業績予想（平成18年4月1日～平成19年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
通 期	225,000	10,500	5,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益（通期） 10円 51銭

[業績予想に関する定性的情報等]

業績予想の修正はありません。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としているため、実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。

○ 添付資料

(要約) 四半期連結貸借対照表、(要約) 四半期連結損益計算書、セグメント情報

## (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 (18.12.31現在)	前期 (18.3.31現在)	増減	前第3四半期 (17.12.31現在)
(資産の部)				
I 流動資産				
現金及び預金	14,001	15,352	△1,351	17,738
受取手形及び売掛金	51,067	52,236	△1,169	53,653
たな卸資産	68,307	60,214	8,093	64,187
その他の流動資産	9,737	8,843	894	8,921
流動資産合計	143,114	136,647	6,467	144,501
II 固定資産				
有形固定資産	164,653	165,666	△1,013	166,570
無形固定資産	1,551	994	557	826
投資その他の資産	24,802	28,527	△3,725	29,271
固定資産合計	191,007	195,189	△4,181	196,667
資産合計	334,121	331,836	2,285	341,169
(負債の部)				
I 流動負債				
支払手形及び買掛金	35,887	35,772	115	36,768
短期有利子負債	101,726	99,933	1,793	104,493
その他の流動負債	20,791	23,155	△2,363	25,935
流動負債合計	158,406	158,861	△454	167,197
II 固定負債				
長期有利子負債	103,605	99,500	4,105	101,674
退職給付引当金	4,532	5,939	△1,407	7,248
その他の固定負債	28,133	27,542	590	27,552
固定負債合計	136,271	132,982	3,288	136,474
負債合計	294,677	291,844	2,833	303,671
(少数株主持分)				
少数株主持分	—	4,684	—	4,615
(資本の部)				
I 資本金	—	23,798	—	23,798
II 資本剰余金	—	1,661	—	1,661
III 利益剰余金	—	4,766	—	2,377
IV 土地再評価差額金	—	3,987	—	4,016
V その他有価証券評価差額金	—	2,749	—	2,801
VI 為替換算調整勘定	—	△1,625	—	△1,744
VII 自己株式	—	△30	—	△28
資本合計	—	35,307	—	32,881
負債、少数株主持分及び資本合計	—	331,836	—	341,169
(純資産の部)				
I 株主資本				
資本金	23,798	—	—	—
資本剰余金	1,661	—	—	—
利益剰余金	6,029	—	—	—
自己株式	△35	—	—	—
株主資本合計	31,453	—	—	—
II 評価・換算差額等				
その他有価証券評価差額金	1,034	—	—	—
繰延ヘッジ損益	2	—	—	—
土地再評価差額金	3,653	—	—	—
為替換算調整勘定	△1,333	—	—	—
評価・換算差額等合計	3,356	—	—	—
III 少数株主持分	4,634	—	—	—
純資産合計	39,444	—	—	—
負債純資産合計	334,121	—	—	—

(要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当第3四半期 (18. 4. 1～18. 12. 31)	前第3四半期 (17. 4. 1～17. 12. 31)	増減	前期 (17. 4. 1～18. 3. 31)
I 売上高	155,480	153,930	1,550	215,957
II 売上原価	125,227	121,416	3,810	169,735
売上総利益	30,252	32,513	△2,260	46,221
III 販売費及び一般管理費	23,054	24,044	△990	32,014
営業利益	7,198	8,468	△1,270	14,206
IV 営業外収益				
受取利息・配当金	353	342	10	436
持分法による投資利益	91	—	91	14
その他	2,086	1,520	565	2,282
営業外収益計	2,530	1,862	667	2,733
V 営業外費用				
支払利息	2,861	2,796	64	3,703
持分法による投資損失	—	102	△102	—
その他	1,919	850	1,068	1,541
営業外費用計	4,780	3,749	1,030	5,244
経常利益	4,947	6,581	△1,634	11,695
VI 特別利益	36	1,522	△1,485	1,619
VII 特別損失	2,347	3,192	△844	5,351
税金等調整前 四半期(当期)純利益	2,636	4,911	△2,274	7,963
税金費用	660	2,789	△2,129	3,397
少数株主利益(△は損失)	△103	49	△152	61
四半期(当期)純利益	2,080	2,072	7	4,504

## セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

当第3四半期（18.4.1～18.12.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	49,294	18,202	74,842	13,139	155,480	—	155,480
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	2,878	526	421	2,356	6,182	(6,182)	—
	52,173	18,728	75,264	15,495	161,662	(6,182)	155,480
II. 営業費用	46,444	18,173	74,295	13,865	152,779	(4,497)	148,281
営業利益	5,728	555	968	1,630	8,883	(1,684)	7,198

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は1,705百万円であります。

前第3四半期（17.4.1～17.12.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	46,400	16,049	75,140	16,340	153,930	—	153,930
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	3,391	424	325	2,258	6,400	(6,400)	—
	49,791	16,474	75,465	18,598	160,330	(6,400)	153,930
II. 営業費用	43,944	16,422	74,090	15,375	149,833	(4,372)	145,461
営業利益	5,847	51	1,375	3,222	10,496	(2,028)	8,468

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は2,146百万円であります。

前期（17.4.1～18.3.31）

（単位：百万円）

	高分子 事業	環境・ 機能材 事業	織事 維業	生活健康 ・その他 事業	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益							
I. 売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	62,490	27,033	103,007	23,426	215,957	—	215,957
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高 計	4,429	606	443	3,178	8,658	(8,658)	—
	66,919	27,640	103,450	26,605	224,615	(8,658)	215,957
II. 営業費用	58,630	25,259	100,744	22,659	207,292	(5,542)	201,750
営業利益	8,289	2,381	2,705	3,946	17,322	(3,115)	14,206

(注) 営業費用のうち、消去又は全社に含めた配賦不能営業費用は3,229百万円であります。